

科目区分：情報処理科目

授業科目名	情報処理入門				学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Computer Sciences						
担当 教官名	野崎 剛一	単位数	2 単位	必修 選択	必修	後期	木曜日 3 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>今日、情報化社会の進展、変化の速さは著しい。我々は、このような社会の変化を正しく受け止め、情報化社会に正しく対処していく能力が求められている。本講義では、学生諸君にコンピュータ、通信ネットワークおよび情報という概念を正しく理解し、それを自在に活用する能力を身につけてもらうために、インターネット接続された Windows パソコンを 1 人 1 台使用しながらコンピュータサイエンスの基礎を講義する。</p> <p>コンピュータの基本的な原理や特性を知ってしまえば、コンピュータはどんな時に役立ち、どんなことが苦手か見当がつくようになる。コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。</p>							
テキスト、教材等							
情報処理入門（野崎剛一著）、3.5 インチ FD （第 2 回目の講義で配布する予定）							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
工学部（材料工学科） T 2 3 B	e-mail、レポート及び定期試験						
授業計画							
<p>いろいろな機械はその能力が上がる(複雑さが増す)ほど、使い方が難しくなる。これを簡単にするのは作り手のセンスである。使い手は作り手の意図をくみ取る努力をすることが大切である。そのためには、機械の仕組みを理解している方がよい。コンピュータやネットワークを自在に活用できるようになるために、コンピュータとネットワークに関する仕組みをよりよく理解することを望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンとネットワーク 2. 情報活用術、インターネットの世界 3. 情報伝達技術、情報検索 4. アプリケーションソフト概要と活用 5. ワードプロソフト 6. 表計算ソフト 7. 画像処理ソフト 8. ソフトウェア、オペレーティングシステム 9. 2 進数と論理演算、ハードウェア(論理回路の基本) 10. コンピュータ内での情報の表現方法 11. アルゴリズム、プログラム言語 12. マルチメディア情報処理 13. 情報科学の進歩、コンピュータの歴史 14. 最新情報処理技術、情報化社会の課題 15. 情報発信、プレゼンテーションソフトの利用 							